



定額一圓 郵費五錢 印刷費三錢 廣告費五錢 零售每份一錢 訂費每月一元 全年十元 半年五元 郵局掛號 電話掛號 發行所 磐城日報社 地址 磐城 本町 電話 三三六〇

鳥海山 登山記

鈴木 箭山 (三)

お花畑は日本一だと云ふ、白ペンキで塗つた花名の標木が多数にある、珍しいのは黒ゆりだ、然したれば無残にも失敬して一本もない黒ゆりは實は月山の名物で移植したのだと案内人の話した。鳥海山の高山植物は六千尺より六千五百尺位の山腹一帯に抱ふに咲いてゐる「鳥海フスマ」「鳥海アサミ」「鳥海イテフ」などが有名である、今日は帝大の物理博士が米澤學校の生徒と植物の研究にゐるのでかまだ見えない、此邊がお土産寫真には一番よい、パチパチと数枚やつたこの山の名物は白玉とソウメンだが、この水でさらした白玉は天下の一品だ、白砂糖をかけて出すこの前より雪溪を上りどこにもある胸突八丁にかゝると白ペンキの標高があるこ

れは中々考へたもので「磐梯山一、八二〇米」少し上ると「飯豊山二、〇五米」とある十ヶ所許りある、目の前に見える月山が今自身のゐる高さと同じだから面白い、いよいよ八時に噴火口の外側についた萬歳を唱いた向ふ側が社殿で頂上の七高山や行者嶽が眉間にある、左側をとつて社務所についたのが八時半大事に頂上まで持ち上げた生胡瓜と一本のビールに雪を入れて前途の祝福を祈つた、いや生氣を得た勇氣が倍位は確に増進した九時半吹浦驛に向かつて下山を初めたこゝも雪溪を二つ三つすぎると鳥の海にでる日本晴れた氣愈々澄んでくる、尾根は遠く吹浦の海岸に驍り松林に浪打際がよく見える、強力の日く「吹浦着は日暮れて六時か七時頃なり」と云ふいやはや一行もあきれはて石骨の尾根を上り下りして全く流汗淋漓所々の笹小屋にて例の白玉とソウメンに力を得一合自位迄下ると心細くも陽は型の如く西山に落ち蚊軍とブユに襲はれつゝ愈々

スピードをかけ吹浦の驛に着いたのが七時三十分氷と玉千瓜にのどをうるほふして前後二十時間の強行軍に宿の梯子段もやつと昇り身心綿の如く夢も現もなく床に入る七日朝吹浦「口の宮」大物忌神社に参拜し羽越線の人となり、夏の日本海的美をたへ鼠が關附近にて怪物龍巻を昇新湯を経て古巢の人となる (をばり) 備考 鳥海山は蔵岡口、吹浦口、小瀧口、矢島口等の登山口あり、各登山口とも設備不完全にて乗りもの更になく食料の如きも相當携帯すること頂上に泊する事も可なり健脚家にしつゝ八時間降り八時間以上を要す

常磐文藝 秋雜詠

秋山紅葉 ○留守番の熟柿落ちたり秋の暮 ○草かげに鳴く蟲の音や秋さびし ○鶏頭や野邊の墳墓の前うしろ

清楚な サロン 明るい サロン 洋酒は サロン 清楚な食堂 田町通り サロン 電三五二一

貸切は他の追従を許さざる破格最低料金の 磐城タクシーへ 電話四五四番 平驛前

皆様の 昭和タクシーは 此際御得意様本位に 貸切料金の値下斷行 何卒御用命を 平驛前 電三四三番

一の井 九月中の御勉強!! 梅酒(并付) 一本 二品 二品 五十錢 竹酒(并付) 三本 二品 五圓 松酒(并付) 五本 三品 七圓 藝妓 五本

吉田眼科病院 平紺屋町、電話六八番

中村、福島間定期乗合自動車 木場自動車部内に營業所を置きました。御用の節は電話二三九番に願ひます。(料金中村—福島間片道一圓五十錢小人半額) 中村 木場自動車部内 福中自動車部 電話二三九番 千ドリ自動車部

水道の擴張工事に

柴山技師の鋸入れ

十五日に地鎮祭

着工は遅くも本月下旬

平町上水道の擴張工事は目下技手及び工手二名宛其他書記等を銜衝中にて是れは何れも履歴書が山積して居るから茲一兩日中に決定を見る筈であるが愈々来る十五日午前十時から好間村上野原の水道取入口に於て地

明日の平郵便局

新築工事落成式

モダンな廳舎に種々の飾りつけ

平郵便局廳舎新築工事落成式は既記の如く明日六日舉行される筈であるが當日は早朝より煙火を打揚げ

新廳舎の店開きは

十一日から

電話線の切替忙し平郵便局は十日を以つて現在の舊廳舎に名残りを告げ午後十時から夜を徹して一切の書類等を新廳舎に移し翌十一日から華々しく新店で開業といつた段取りであるが電話は單式から共電式に改まる爲め十日の夜半十二時を期して仙臺からの應援を加へ百數十名の工夫が架空線を躍り廻つて二三時間の間に七百餘の電話を全

部新廳舎への線に切り替へを爲す筈であるから十一日早朝からはハンドルを廻さなくとも受話機を外しただけで交換機が「モシ〜何番?」と聲を掛けてくれる

自動車も止める

舊盆三日の賑ひ

此分では天氣も大丈夫

ジャンガラの取締

愈々舊盆祭も明日からであるが天氣も此の分なら心配なく不景氣の眞最中であるだけに却つて反動的勢力を以て例年以上の賑ひと雜踏を見せるであらう

電燈會社

も十日より一時間も早く点燈して前

景氣を振り廻し、たいまつのは天を焦して火の海と化し全町をナガシて歩く人の波、踊子の鈴もジャンジャンはジャンガラ念佛と共に賑々しさを添へて平町の舊盆の夜が更けて行く……平署では當夜の

交通整理

にはそれ係官を特派して午後六時半から同八時半までは自動車市内通行を一切禁止して通行人の安全を計り同時に絶えず眼を光らして萬一を警戒する筈である、因に各村落より出てくるジャンガラ念佛の團體は新盆の家に豫め世話人を 通じて念佛を頼むかどうかを定め一

事になる尚ほ七日午前九時から午後三時迄新廳舎を一般人に觀覽せしめ十四五の兩日は電話加入者を招待すると

雄辯法講座

會場が決定

既報久留鳥武彦氏を招いて講く雄辯法講座は會場を平第二校講堂に決定したが十三日は午後一時から同五時迄、十四日は午前九時から正午迄とし希望者は十日迄に平町町藤田榮助氏宛申込み度しと

聯合教育會

平第一校に

濱三郡聯合教育會總會は濱三郡聯合教育會總會は來る十一月一日午前十一時から國學院大學教授松永材氏の講演がある筈

平町物價

品名	單位	價格
白米	一キロ	二二五
一等	一キロ	二二〇
二等	一キロ	二一五
三等	一キロ	二一〇

礦區を看板に

詐欺を働く石城郡山田村大字法内小島由藏は昨年十一月十五日頁自己所有の礦區に着炭すれば一切の商品類を購入するとの約束で平町南町田村周から現金百卅圓及び品物代十圓卅錢を借り今になつても音沙汰がない爲め田村は憤慨して此程平署に告訴した

美術季近し 美友會の事共 植竹翁の残した足跡を踏みつ、

大正六七年頃かと思ふ、故植竹源太郎氏が警中の近藤教諭と相圖つて石城美術研精會を設けたのが

ながらペンキ繪の如し」とは蓋し適評乎?女學校の酒井教諭は副會長として納まつてゐるがこの人は日本畫に對する研究が深くその作品は頗る氣品が高い、會員では平第一の大和田先生が先づ第一指に屈する人だ、月次例會に於いても有力な

論客 での作品と共に美友會の明星である、同じく第一に上遠野先生、第二に四家先生と夫々の長所短所を持つてとにかく圖書の先生だ、北白銀にある青山勤君も警察に勤務の旁ら非常に優れた作品を出し

新築 成るを待つてその階上に華々しく開かれるだらう美友展こそ地方人士が胸一ぱいの期待を以て鶴首してゐるに違ひない、

現在 の美友會となつて平町の種々なる會のうちでは比較的永々續いてゐる方だ、その植竹氏の跡を享けて會長になつたのか近藤君だが警中のX會をあれだけの全國的なものにしたのは總て君の偉大なる功績としなければならぬが、美術界の消息通として盛んに博學多識をふり廻す處頗る茶氣満々、一傍人

白く「君の畫はさ

募集 藝共 投稿を募集します

社告

例年の如く舊盆三日間は従事員一同の慰安に當て度く從つて七日の日曜日を除いて六、八の兩日休刊致すべく候間何卒此段御諒解願上候 尚ほ突發的の重大事は號外を以つて速報可仕候 九月六日 常磐毎日新聞社

白麥	同	一五〇
平麥	同	一七〇
味噌	(並)一貫	七〇〇
醬油	(並)一升	六〇〇
清酒	(並)一貫	一〇〇〇
木炭	樽割	二四〇
砂糖	赤	一九〇
豚上肉	同	一七〇
豚並肉	同	一五〇
牛上肉	同	三〇〇
牛並肉	同	二〇〇
同並肉	同	三〇〇

廣告折込み及びチラシ全部一手引受

御用命通り一戸も

チラシは百枚に付十五錢

常磐毎日新聞社



明日のラジオ 六日 天気 今晩も明日も北西の風晴れたり曇つたりで朝夕温度下る

△前九・一〇 料理献立「豚肉の豆をぼろ和へ」宮城縣第一高等女學校發表
△前二〇・三〇 家庭講座「お琴のお稽古と童謡」(十一)宮城道雄(實演)收瀨數江 宮城道雄
△後〇・〇五 ハーモニカ合奏 宮田ハーモニカバンド
△後二・四〇ヨリ△後五・四五マデ「シカゴ大學對日本チーム野球試合状況」(明治神宮外苑野球時より中継) 子供の時間
△後六・〇〇 子供の時間

ハーモニカ合奏

宮田ハーモニカバンド 指揮 宮田東峰 相原考祥

一、結婚行進曲(メンデルスゾーン作曲) シエークスピアの戯曲「真夏の夜の夢」のために作られた曲で劇中の結婚の場に奏せられる壯麗な大行進曲であるが、今では新教の教會で行はれるすべての結婚式に奏せられてゐる名曲である。
二、日本組曲(山田耕作曲) イ、さらし
ロ、お江戸日本橋
ハ、かつぼれ
此の組曲は山田耕作曲氏が大正六年アメリカ滞在中にオーケストラ用に作つてニユ

作曲) スーパースター「行進曲王」と呼ばれ、アメリカの名樂長である。此の曲は彼の名作の一つで極く上品な美しい曲である。
五、行進曲「ストロニー、ポイント」(ローランド作) 勇壯な軍隊行進曲でカナダの樂長ローランドの作である。

浪花節

妻川歌燕 物真似

伊勢の海千尋のそのの鮑貝身をすて、こそ浮ぶ瀬もあり御早くからおいで下さる皆様方に勤め上げます、演題は彼れや是れやに候得共わけて演ずる御藝題は、後一段に成りましたら伊豫満山桶が岩屋と云ふ所で悪猫退治を致しました、佐賀の夜櫻鍋島の猫小守半左衛門苦心談

東家三叟

人情教育浪花節笑へば笑ひ泣け泣け喜怒哀樂情を演ずる演題は百萬兩寶の入船と残る紀の國屋主人文左衛門は身一代の百萬兩の財産を産し、其のあしたより吉原の里に遊び黄金の花を散し紀文大盡と世に名を知らる

初代消花亭愛造

とかく浮世に變らぬものは松の葉色に月日に出潮變りやすきは人の心に秋の空、藝題佐倉義民傳を讀み奉る

東家樂遊

勤王美談は小松嵐の一幕を

木村重友

行けば千里も何かせん、牛のあゆみのよしをそくとも河内山の豪膽録記憶いたした概略を讀み奉る、浪花節には後節と云ふて左の五ツがある

カンチガイ

次第にふける夜嵐の折から打ち出す山寺の鐘、ゴンヨ／＼となりひびきけり。指折りかぞへて九ツの

四ツマ返し

顔を眺めて居りましたが、今一度顔よと引よせて

四ツマ返し

見れば見る程むねせまり、早く行くと親子のものか

観音

折から降り出したる雪の中、いとせせすに親子のもの出て行く身の其のつらさはたで見ると目もきのどくな

現代の要求が生んだ 浅草式食堂... 洋食 十錢均 定評ある福壽軒主人の調理... 生ビール一パイ十錢 明治四十三年創業 平町に於ける洋食店開祖 福壽軒 電話二八番 町田新平

新築落成披露 平町に於けるカフエーステージは皆様の御引立に依りまして御蔭様で繁昌致しました、先月來食堂改築中の處此程落成致しました、何處から何處まで明るいトテモ感じのよい平町に於ける代表的なカフエーステージは皆々様の御光來を御待ちして居ります 九月五日ヨリ開店 カフエーステージ 電話七六五番

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡回文庫 電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

◆**コークス大々の値下斷行**
 従来一俵金壹圓貳拾錢ノ
 東京五斯コークスヲ

金九十五錢ニ値下ゲ致シマシタ

◆**一家ノ經濟ハ臺所カラ**

▼使へ馴レ、バコークス程

經濟ナモノハアリマセン

▼使用法ハ參上シテ御説明申上マヌ

◆**配達迅速** 御注文ハ一俵ヨリ御届ケ致シマス

電話二三七番

平野前



阿部石炭商店

電話七六六番

平野新郵便局通り
 水野水室コークス部

御中元大賣出し

御贈答用品

- 敷布箱入……………五拾錢
- タオル箱入三本……………廿八錢
- ハンカチーフ箱入一打……………五拾五錢
- コルゲード石ケン……………七拾錢
- 歌舞伎石ケン同……………三拾錢
- 玉の肌石ケン三ヶ入……………四拾五錢
- モリタヤ特製同……………四拾五錢
- 靴下箱入三足……………四拾錢
- 大人縮シャツ……………二拾五錢

御進物に喜ばれる
 モリタヤの商品券

5丁目電353

モリタヤ洋品店

外科内臓外科
 耳鼻咽喉科
 産婦人科

福島縣浪江町

山村醫院

電話一一四番



ミネラル

萬人嗜好の的
 風味芳醇!

清涼飲料

リボニミトロン

廣告は安買で効果のある本誌を即日下す。即日下す。

◇九月六、七、八の三日間 (舊七月十四、十五、十六日)

初秋の壁頭!! 今秋の超尖端を切る!! 店内全部

銘仙大陳列即賣會

丸帯。江戸褙。錦紗小紋。訪問着
 新秋百パーセントの京織物陳列會

平町

三井吳服店

お醤油はヤマフル

醤油味噌
 たひら正宗
 鯉節 食料品

鹽屋
 山崎合名會社

福島縣平町
 電話(營業部) 一〇番
 (醸造工場) 二七番

最新式高級

セタン型二臺購入

自動車通のお客様は

斷然この車をお撰び致します

高級車でも破格の料金です

是非一度御試乗を!

マツザキタクシー

電話番號は 獅子シシク 四四九

看護婦急派
 の求めに應じ
 ます

平看護婦會
 電話三〇七番

新築落成

双葉修齊女學校
 長塚村電話一八番